取扱説明書

モノタロウ

■12V専用バックカメラ　注文コード：25218893

■夜でも見える12V車専用バックカメラ(CCD)　注文コード：25233864

このたびはバックカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

ご使用の前に

⚠警告 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- ●本製品はDC12V・マイナスアース車専用です。DC24V車には使用できません。
- ●配線作業を行う際は必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。ショートにより感電やけがの原因になります。
- ●コード類は運転の妨げにならないように引き回してください。ステアリング、シフトノブ、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因になります。
- ●作業後は車の電装品の動作確認をしてください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因になります。
- ●エアバッグの作動の妨げになるような場所には取り付けしないでください。
- ●本製品を分解、加工等の改造行為をしないでください。特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
- ●コード類は運転動作の邪魔にならないように束ねてください
- ●配線の引き回しはシートレール等の可動部にハーネス類を挟み込まないように引き回しを行ってください。
- ●取付けやアース配線に車にステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナットなどの保安部品は使わないでください。
- ●ねじなどの小物部品は、乳児の手の届くところには置かないでください。誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。
- ●目視による安全確認をしてください。モニター画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。 カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、交通事故の原因になります。
- ●本製品の分解・改造などはおやめくださ さい。故障、破損の原因になります。これが起因する本製品のトラブルに関しては当社では一切責任を負いかねます。
- ●故障や異常な状態のまま使用しない でください。画像が映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、 ただちに使用を中止してください。 事故や火災、感電の原因となります。

⚠注意 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、人的被害や製品の破損、その他の物的損害に結びつく可能性があります。

- ●本製品の取り付け(取り外し)や配線は、専門的な知識が必要です。専門技術者に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります。
- ●必ず、付属品や指定の部品を使用する 。機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。
- ●取付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける 。走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。
- ●本製品は車載用カメラです。車載以外の目的には使用しないでください。
- ●本製品は広角レンズを使用しておりますので、近い場所は広く、遠い場所は狭く映り実際の距離感とは異なる場合があります。
- ●ドライバーの視界を補助するためのものであり全ての危険及び障害物を映し出せる物ではありませんので必ず目視で確認を行ってください。
- ●取り付け後は確実に固定されてる事を確認してください。
- ●電源ハーネスは金属部に触れないように配線してください。
- ●高圧力での洗車は行わないでください。本体に水が侵入したり、カメラが落下する恐れがあります。
- ●コードを破損しないでください。断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。破損の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ火災や感電、故障の影響になります。
- ●コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。車体やねじ・可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように、引き回す。ドライバーなどの先で押し込まない。
- ●本機を車載用以外には、使用しない でください。発煙や発火、感電、けがの原因となります。
- ●自動洗車機(高圧水)による洗車をしないでください。カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 また、脱落による事故の原因となります。

ご使用前に下記の内容を必ずお読みください。

- ●本製品は鏡像タイプの(バックミラーやサイドミラーと同様に映す)後方確認用カメラです。
- ●本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せる ものではありません。
- ●本製品は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の 距離感とは異なる場合があります。
- ●本製品はRCAタイプの映像入力付きのモニターなどに接続可能です。シフトレバーをリバース(R) に入れたときの連動機能(カメラ映像の割込み表示)とスケール表示は、接続する機器での対応となりますので、動作の保証はいたしかねます。ご了承ください。 接続する機器の説明書に従って、カメラの設定(画質調整等)を行ってください。
- ●本製品の取り付け(取り外し)や配線は、専門的な知識が必要です。専門技術者に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります。

■作業の順序

①バッテリーの マイナス端子をはずす。
②各種コードを配線する。※接続後必ずハーネステープで保護してください。
③バックカメラを取り付ける。
④ バッテリーの マイナス端子を、もとに戻す。

- ●コネクターは確実に差し込んでください。 また、着脱時にはコードを引っ張らないでください 。
- ●映像用コードやカメラのコードは、改造 による延長はしないでください。画面に ノイズが出たり故障の原因となります。

※ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

■電源入力・アース線の配線方法

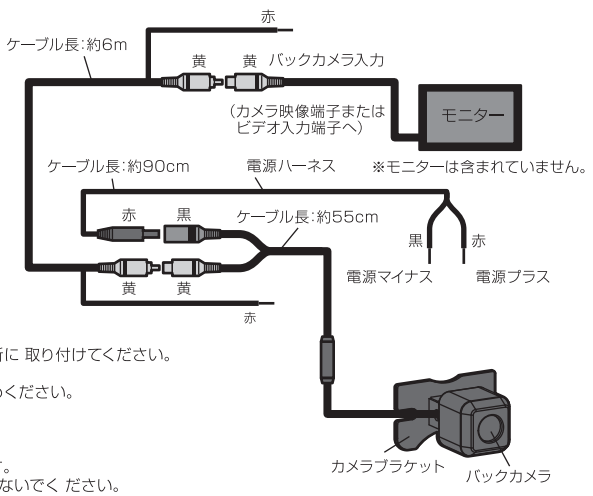
①エンジンキーをOFF⇒ONの位置(エンジンは始動しない)にシフトレバーをR(リバース)の位置に動かしたとき＋12Vが流れる線をテスター等で探してください。電源ハーネスの赤線を接続します。
②電源ハーネス内の黒線を車両ハーネスのアース線に接続します。またはクワ型端子等を使用し塗装されてない金属部分のボルトに接続してください。

■映像出力RCA端子の接続方法

- ●モニター・ナビゲーションユニット等のバックカメラ入力に映像出力RCAを接続してください。

詳しは、裏面のバックカメラ取り付け方法をご確認ください。

※本説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。



■カメラを取付ける前に(カメラを取付ける前に以下をお読みください。)

- ●本製品はナンバープレート周辺など車両の凹部、もしくはナンバープレートの視認性を妨げない場所に 取り付けてください。
- ●設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。
- ●あらかじめマスキング等で仮接続・仮止めして、取り付 ける位置を決めてください。張り直しはおやめください。
- ●必要な範囲が見える取り付け位置を 確認してください。
- ●カメラは車幅に対してできるだけ中央 付近に取り付けてください。
- ●気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- ●接着面が完全に乾いた状態で作業を 行ってください。接着不良などによる はがれの原因となります。
- ●取付けたあと、24時間以内は雨に ぬらしたり、水をかけたり、引っ張っ たり、無理な力を加えたりしないでく ださい。
- ●フッ素樹脂処理された(水滴や泥水など をはじく)塗装面やガラス面、再塗装 された面には貼り付けられません。

■カメラ取付け位置について

「外装の技術基準」に準拠した取り付けが必要となります。
●保安基準についての詳細は、国土交通省のホームページ内、「道路運送車両の保安基準」を参照してください。

■規制の対象となるお車

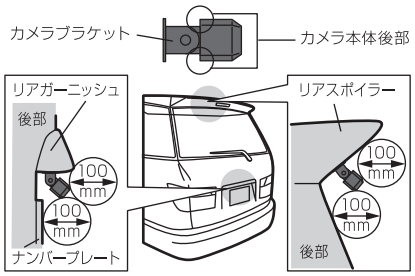
※2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。
※乗車定員10人未満の、専ら常用の用に供する自動車）
※ナンバープレートが3,5,7,8（乗用車の改造車）

■規制の対象とならないお車

※2008年以前に製作・登録された乗用車。
※商用車（4、1ナンバー車）
※高さ2 m以上の部分に取り付ける場合
※フロントラインより下に取り付ける場合

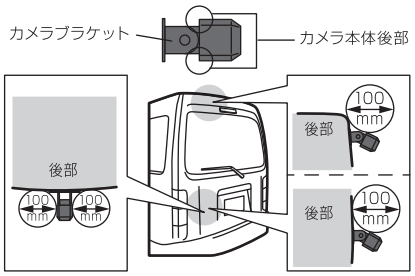
■保安基準に適合する取付け例

※カメラブラケットやカメラ本体後部が直径100mmの球と接触しないように、リアスポイラーやリヤガーニッシュなどの下面に装着する車で保安基準に適合します。



■保安基準に適合しない取付け例

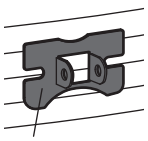
※カメラブラケットやカメラ本体後部が直径100mmの球と接触すると保安基準に適合しません。



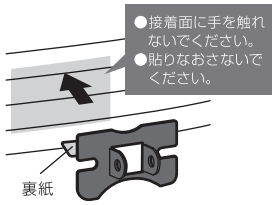
■カメラの取付方法

❶カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取付ける。

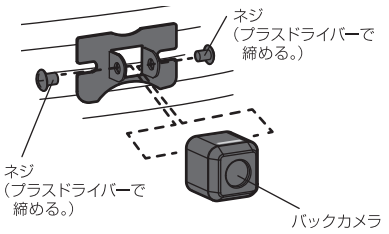
1取付ける面に合うように整形する。



2裏紙をはがしてしっかり密着させる。



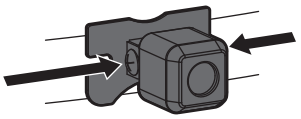
❷カメラ本体をカメラブラケットに取付ける。



※カメラ本体とブランケットの取り付け方法がイラストと異なる場合があります。

❸バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るようにカメラの角度を調整する。

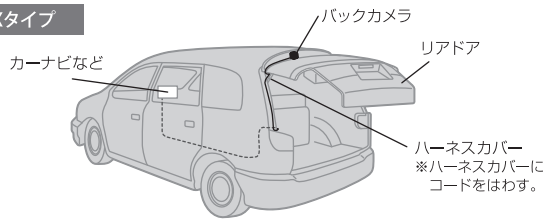
●プラスドライバーでネジを緩めて、カメラに角度を調整する。（調整後、しっかりと締める。）



■カメラケーブルの引き回し方法

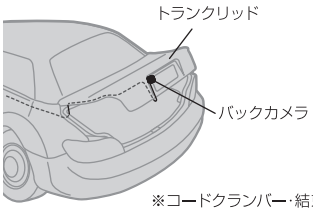
●雨水が浸入しないようにカメラのコードを引き込んでください。
●ドアの開閉でコードが引っ張られないように、コードを余分にたるませて引き回してください。
※バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉し、カメラのコードがバックドアの縁に挟まれてこすていないか十分に確認してください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれることが あります。
※カメラのコードはアンテナコードからできるだけ離して引き回してください。（テレビ、ラジオの音声にノイズが入ることがあります。）
※AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラのコードを離してください。

1BOXタイプ



※たるんだコードを引っ掛けないように、コードクランバーや結束バンド等で処理してください。

セダンタイプ



※コードクランバー・結束バンド（別売）

※たるんだコードを引っ掛けないように、コードクランバーや結束バンド等で処理してください。

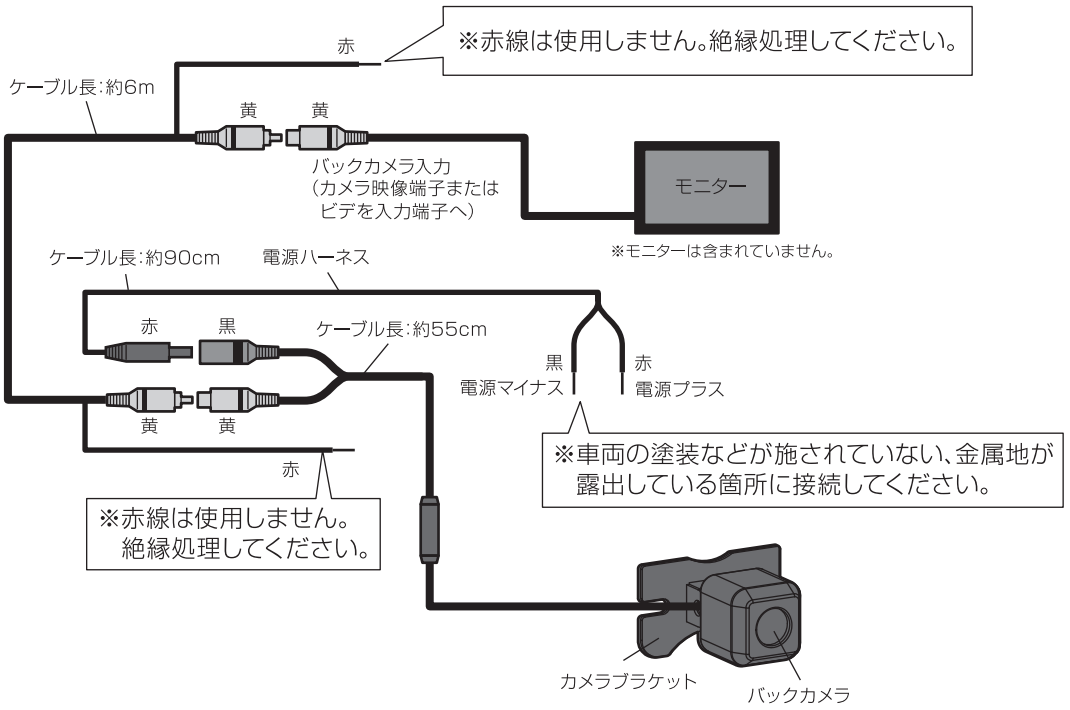
	■12V専用バックカメラ	■夜でも見える12V車専用バックカメラ(CCD)広角鏡
出力映像	広角鏡像（後方確認用）	広角鏡像（後方確認用）
使用電源	DC12Vマイナスアース電源	DC12Vマイナスアース電源
使用電流	0.5W以下	0.5W以下
撮影素子	COMS素子	CCD素子
有効画素数	656X492	1280X720
レンズ	F=1.2	F=1.2
視野角	108度	128度
S/N比	48db以上	48db以上
水平解像度	520	750
照度範囲	0.1LUX以上	0.1LUX以上
映像出力	NTSC　1.0 Vp-p　75Ω	NTSC　1.0 Vp-p　75Ω
ガイドライン	なし	なし
動作環境	-20度～75度	-20度～75度
外形寸法	幅約21.3㎜X高さ約21.2㎜X奥行約25㎜	幅約23㎜X高さ約23㎜X奥行約31㎜
質量	約123g(コード類含む)	約134g(コード類含む)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
※保安基準（法令）に違反するような取り付けはしないでしないでください。違法改造によるトラブルや事故については、当社では一切責任を負いません。
※取付けの不備や配線ミスなどの事故につては当社では一切責任を負いません。
※破棄する際は自治体の方法に従ってください。
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がございます。

バックカメラ取り付け方法

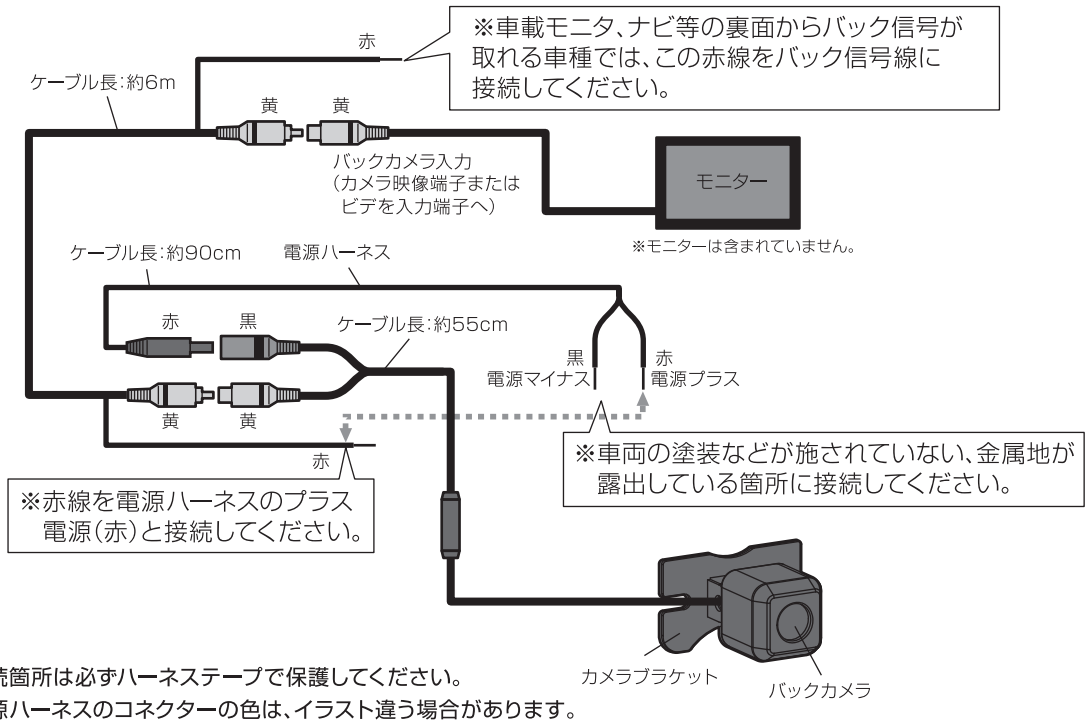
① バックカメラ取付方法(通常の取り付け方法)

※バックランプ線よりバック信号を取る場合



② バックカメラ取付方法2(トリガー線(赤線)による接続)

※ナビ・モニタの裏面からバック信号から取る場合



※接続箇所は必ずハーネステープで保護してください。
※電源ハーネスのコネクターの色は、イラスト違う場合があります。
※本説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。